

2014(平成26)年度第2回「子ども支援ネットワークづくり」推進教員研修会



気軽に学べるミニ講座として好評をいただいている「子ども支援ネットワークづくり」推進教員研修会。年末の忙しい時期の開催でしたが、推進教員のみなさまにご参加いただき、会場は熱気にあふれていました。



講座①「ただふつうに当たり前・・・」 ～全人教報告レポートから学ぶ～

○講師：杉田宏さん（NPO法人ステップワン）

○12月25日（木）13：30～15：00

全人教大会でもお取組みを報告いただいた杉田さんをお招きし、杉田さんご自身の今までの生き立ちや、ステップワンでの活動（知的障がいの人たちの作業所）、共に生きるとはということなのかを体験を交えご講演いただきました。障がいのある人たちの「当たり前」とは・・・を深く考えさせられる機会となりました。



参加者の感想より

- 「足が不自由なのでなく、社会が不自由なんだ」杉田さんが小学生の頃の教師の言動についての話。自分自身の行動を振り返り、常に自問していかなければならないと強く感じました。
- 社会に不自由さがあることが伝わってきました。また、障がいのある人自身の変化に期待してしまっているバリアが、学校教育の中に多く存在していると感じました。
- 介助も良いが、介助なしでも、生き生き過ごせる社会というものになっているかどうか点検が必要というところが、そうだなあ…(来たるべき高齢者社会に向けても)と感じました。色々な発信もしてもらい、それを広げる取組で、社会が変わるということは、どの分野においてもそうなのではないでしょうか。加速していくことを願います。

講座② やってみよう！参加型人権学習

○ファシリテーター：林 弓（三重県人教事務局員）

○12月25日（木）15：15～16：45

本年度、たくさんの学校の授業や人権集会、保護者対象研修会などで、ファシリテーターをさせていただいた中でご好評をいただいたワークショップやSNSの指導に活用できるワークショップを紹介しました。



参加者の感想より

○気づかされるが多かったです。是非、保護者と一緒の研修でも使わせてもらいたいです。

○楽しい時間でした。是非、子どもたちとやりたいものばかり、やって伝えたいと思うことがいっぱいでした。ありがとうございました。

○コミュニケーションの大切さ(難しさ)を再認識することができた。是非、授業などでも活用したいと思いました。



講座③ 人権・同和教育のこれまで、そしてこれから

○コーディネーター：谷口剛・増井光自（三重県人教事務局員）

○12月26日（金）13：30～16：45

2講座分の時間を使い、じっくりと語り合いながら進める初めての試みの講座でした。「家庭訪問」「気になる子どもの生活課題」「自分と部落差別」など、人権・同和教育が今まで大切にしてきた取組をどのように実践にいかしているか、また、次世代へと伝えていく必要性、そして、どのように人権教育の発展につなげるのかなどについて話し合うことができました。

参加者の感想より

- 保育所・小学校・中学校・高校等、様々な立場の方の課題がみえる意見が聞けたことがよかったです。自分自身を振り返ることにつながりました。
- 研修会の中で、自分の話をしたり、他の先生の話をおいたりする中で、自分のクラスの子どもの顔がずっと浮かんでいました。実践を積み重ねていきたいと思いました。
- 異校種の先生方が感じている思いなどを聴けて参考になりました。今後もこういった機会に積極的に参加したいと思います。人権担当やこういった研修会に参加されている先生方の雰囲気は大変温かいなと思いました。
- 改めて自分と差別の問題について問い直すことができたと思った。話し合いを通して、いろいろ確認することができてよかった。職場でもこんな機会が持てるようにしていきたいと思った。学力調査の課題を学力保障という視点で論議できる機会があるといいと思います。

